

街を知る、地域を知る

MY TOWN

猪名川
宝塚 ● 川西
三田 伊丹

2021年3月

vol.31

～宝塚土木事務所の取り組み～



宝塚ホテル

兵庫県 阪神北県民局 宝塚土木事務所

北摂里山サイクリング

北摂里山地域は、阪神間や大阪からも近く、平坦な田園地域や高低差のある峠など変化に富んだスポーツサイクルを楽しめるエリアです。

そのため、スポーツサイクルを通じて北摂里山の魅力を発信するとともに、地域振興を図ることを目的に、初心者から上級者用の4つのモデルコースを設定したサイクルマップの作成や、サイクル環境整備に取り組んでいます。

沿道施設等で食事や休息・観光をする際に、スポーツサイクルを安全に保管できるサイクルスタンドやサイクリストが迷わず、安全にサイクリングできるコース案内看板などを設置しています。



北摂里山サイクリングコース



サイクルラック設置状況

宝塚土木事務所の水防態勢

洪水などの災害の恐れがあるときは、状況に応じて必要な人員を配備した水防非常配備態勢に入り、雨量情報や河川の水位情報を収集します。

水位が上昇し、洪水の危険性が高まると、市町などの防災関係機関に対し水防活動を要請する「水防警報」の発令などの情報伝達を行います。また、状況に応じて出動し、水防活動を行います。

日頃からも大雨や台風の発生に備え、県では市町や消防などの関係機関と一緒に水防連絡会の開催・水防訓練の実施・防災パトロールの実施等を行っています。



水防技術講習会での土のう作り



令和元年度水防連絡会

県民まちなみ緑化事業

兵庫県では、県民緑税を財源とする「県民まちなみ緑化事業」により、緑豊かな都市部の実現を進めています。県民の皆さんによる植樹や芝生化などの緑化活動を支援しています。

具体的には、植樹や芝生化の工事費、必要な用具等の購入費に対し、自治会、緑化活動グループ等の地域団体なら全額を補助しています。（※その後の維持管理は皆さんで行ってまいります。）

緑地面積30㎡以上が補助の対象です。皆さんも県民まちなみ緑化事業を使って緑を増やしてみませんか。令和2年度には事業の見直しを行いました。最新情報はHPをご参照ください。



（「県民まちなみ緑化事業」で検索）



空き家対策事業

地元の街を散歩しているとき、空き家を見かけることはありませんか？

空き家を放置すると、家屋の老朽化や庭木の繁茂などさまざまな問題が発生します。

その結果、所有者さんには改修費や維持費といったランニングコストの負担、定期的な維持管理作業の問題。ご近所さんには空き巣や放火等の治安の悪化、景観の悪化、それらから誘引される地域の魅力低下などの問題が発生します。

それらを防止するため、阪神北地域で空き家を所有している人、所有する可能性のある人を対象とした空き家対策セミナーを開催しています。

また、空き家所有者と専門家をつなげる空き家相談員の育成にも取り組んでいます。どこに相談すれば良いかわからないといった方、空き家相談員に相談してみたいはかがでしょうか。



令和2年度 空き家対策セミナーの様子

information



魅力ある北摂里山を広く発信するため、地元のサイクリングチーム「コラッジオ川西」とともに、サイクリストの目線で4つのモデルコースを設定し、サイクルマップを作成しました。

マップに載っているQRコードを読み込むことでスマートフォンで詳細なルートの確認が可能です。

また、走行する上で注意しなければならない箇所やコース沿いのビュースポット、スポーツサイクルに乗る上での注意点、マナーなども掲載しています。

阪神北県民局や、管内の市役所などで配布していますので、ご利用ください。



モデルルート上級者
QRコード



利用しやすく安心感のある交通システムを作り、公共交通の利用を促す施策を検討・実施していくため、地域のNPO、行政、事業者等からなる協議会「阪神都市圏公共交通利用促進会議」を設置しています。

この協議会において、バス利用に必要な情報を掲載した「阪神地域えきバスまっぷ。」を作成しました。

阪神北県民局や、管内の市役所などで配布していますのでご利用ください。

また、地域内の主要駅では、携帯電話、スマートフォンなどによりバス情報を取得できる「えきバスびじょん。」を作成していますのでこちらも、ぜひご利用ください。



えきバスびじょん。
QRコード



空き家活用ガイド



空き家活用&
移住ガイドブック

空き家所有者はもちろん、これから所有する可能性のある人、空き家活用に興味のある人に向けたパンフレットを作成しましたので、ご一読ください。

【空き家活用ガイド】

近年関心を増している空き家について、一般的な疑問点や支援制度について解説しています。

また、専門家のインタビューも掲載しています。

【空き家活用&移住ガイドブック】

空き家に詳しい専門家や先輩移住者へのインタビューを掲載しています。

また、移住の計画から生活までの基本的なステップをご紹介します。

MY TOWN

発行日：2021年3月

発行：兵庫県阪神北県民局 宝塚土木事務所
〒665-8567 兵庫県宝塚市旭町2丁目4番15号

TEL 0797-83-3101(代表)

FAX 0797-86-4329

E-mail: takarazukadoboku@pref.hyogo.lg.jp



尼崎宝塚線(小浜南)

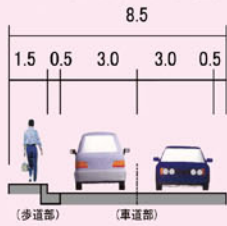
事業の概要



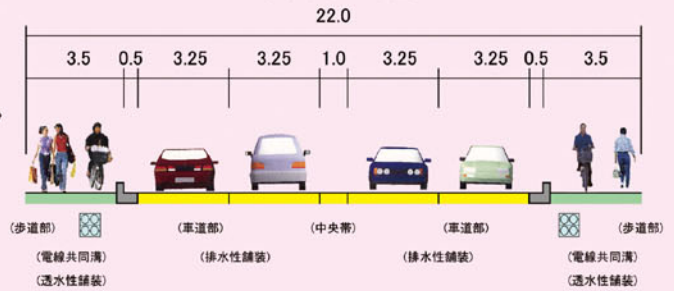
尼崎宝塚線は、臨海部の尼崎市から伊丹市を経て、宝塚市の中国自動車道宝塚IC及び国道176号へ連絡する阪神間中央部の南北主要幹線道路であり、小浜南工区はその一部区間です。令和2年12月現在、尼崎宝塚線全12.4kmの内、11.4km整備済で阪神北県民局管内では、宝塚市小浜南工区L=0.4kmを残すのみとなっています。

都市計画事業の種類及び名称	阪神間都市計画道路事業 3・4・81 尼崎宝塚線(小浜南工区)
事業区間	小浜南工区(宝塚市安倉西2丁目~小浜2丁目)
施工延長L 道路幅員W	L = 412m W = 22~42m
事業期間	平成18年8月~令和5年3月

現況横断図



計画横断図



事業の必要性

尼崎宝塚線は、阪神間の東西の主要幹線である国道43号、阪神高速神戸線、大阪湾岸線からの交通や周辺市街地からの発生交通に対処するために、4車線化整備を進めてきましたが、残る小浜南工区の4車線化、宝塚ICランプの立体交差化を完成させ、小浜南交差点、福祉センター前交差点の渋滞解消を図ります。



施工状況

県道拡幅工事、宝塚ICランプ立体交差化のための橋梁工事、無電柱化のための電線共同溝工事を実施しています。



令和2年12月現在

事業の完成イメージ

4車線化及び歩道の整備、宝塚ICランプ立体化を図り、渋滞を解消して安全な交通を確保します。



河川砂防事業の取り組み

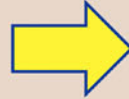
河川事業の主な取り組み

武庫川流域や猪名川流域を始め、兵庫県下では、大雨による被害を減らすため、総合治水（ながす・ためる・そなえる）に取り組んでいます。今回は、洪水を速やかに「ながす」取り組みについて紹介します。

【河川改修】 河川断面を拡幅し、速やかに洪水を流下できるようにします。



施工前



施工後

(猪名川 川西市矢間付近)

【堆積土砂撤去】 溜まった土砂を撤去して、洪水の流下断面を確保します。



施工前



施工後

(武庫川 宝塚市武庫川町付近)

砂防事業の主な取り組み

大雨などにより発生する土砂流出の災害を防ぐため、砂防ダムの整備や急傾斜地崩壊対策（斜面对策）を行っています。

【砂防ダム】



(宝塚市伊子志地内)



(川辺郡猪名川町伏見台地内)

【斜面对策】



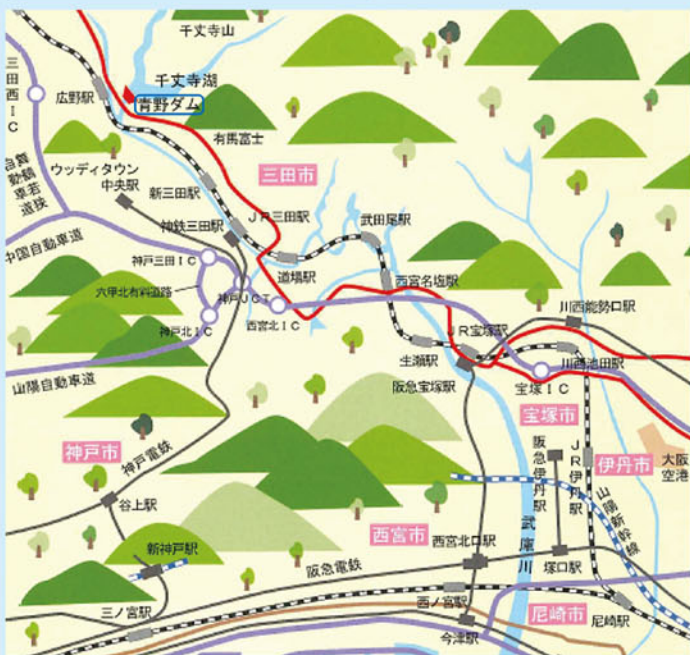
(川西市加茂地内)



(宝塚市長寿ガ丘地内)

青野ダム

青野ダムの概要



青野ダムは武庫川沿川の洪水対策と、北摂・北神地域の水道水源の確保を目的として、昭和63年に完成しました。ダムの建設によってできた千丈寺湖は、県下で最大の面積を誇ります。現在、三田市街地などの上水道用水として、1日に87,400m³を供給しています。洪水時にはダムに一時的に貯め、流れる水の量を減らすことで、下流域の水害を防ぎます。

また、事前放流と称して台風や豪雨が予想されるとき、あらかじめダムの水を放流し水位を下げ、一時的に貯められる容量を増やしています。

その他、ダムにより分断された生態系を回復するとともに、生物に優しい環境を創り出すため、多自然型魚道を整備しています。



多自然型魚道

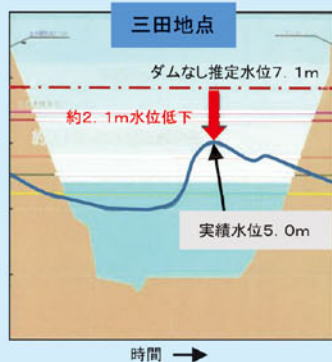


青野ダム

ダムの貯留効果

青野ダムの建設後最大の豪雨時(平成30年7月)に、青野ダム地点において累計雨量382mm、最大時間雨量37mmが観測されました。その際、ダムへの最大流入量約337m³/秒のうち約237m³/秒をカットし、約386万m³をダムで貯留しました。

その結果、三田地点では約2.1m、武田尾地点(宝塚市)では約1.2m水位を低下させることができ、氾濫の危険性を減らし、安心感・安全性を高める効果がありました。



ダムカード配布中

近年人気のダムカードを青野ダムでも配布しています。管理事務所までお越し下さい。(平日の9時~17時)



「地球アトリエ」構想

有馬富士公園では、「自然環境と芸術が織りなす新たな芸術文化を創造する公園」として、アートコラボ事業を展開しています。

公園北部に位置する休養ゾーンにおいては、風や水など自然エネルギーで動く彫刻を制作する三田市在住の世界的造形作家である新宮晋氏の12点の彫刻を展示する「風のミュージアム」があります。ここでは、薪能やジャズコンサートを開催し、自然と芸術の融合による新たな公園像を創造する取り組みを進めています。

更に、より一層公園の魅力を高めながら、地域の活性化につながる自然や芸術に触れあえる世界的な拠点を目指すために「地球アトリエ」構想を推進しています。



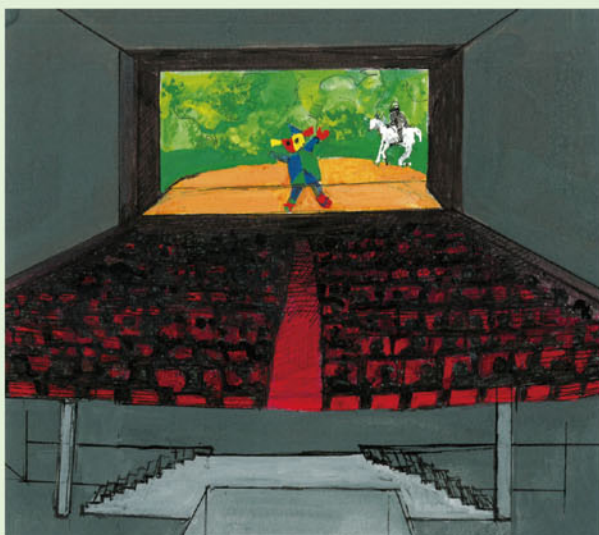
「地球アトリエ」計画場所

「地球アトリエ」のイメージ



「地球アトリエ」は、イメージ図にもありますように、体験交流館、アトリエ、劇場などと、それらに囲まれた広場等によって構成されます。来園者が五感を使って芸術や自然に触れ、楽しめる体験型施設、自給自足や地産地消をテーマとしたカフェ・レストラン及びオリジナルグッズが購入できるショップを、令和2年度から5年度の間で整備する計画です。

今後、「地球アトリエ」を整備し、「自然環境と芸術が織りなす新たな芸術文化を創造する公園づくり」の推進に努め、阪神北地域の観光振興及び地域創生等に貢献していきます。



劇場のイメージ



カフェ・レストランのイメージ